

2019年9月11日(水)
日本緑茶センター株式会社

かりがねほうじ茶 64%使用の日本版ミルクティー！ 大人のラテ「インスタント ほうじ茶ラテ」限定発売

クレイジーソルト、ポンパドール・ハーブティー、茶語(Cha-Yu)、ティーブティックを手がける日本緑茶センター株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:北島大太朗)は、秋冬の定番ドリンク・ほうじ茶を、ミルクティーのように手軽に楽しめる「インスタントほうじ茶ラテ」を、2019年9月13日(金)に数量限定発売いたします。



「インスタントほうじ茶ラテ」は、5年間で売上2倍増の秋冬の人気商品です。

今年は原材料を見直し、京都産かりがねほうじ茶を64%使用した無添加ドリンクになりました。甘さをひかえた味わいも、大人のラテとしておすすめです。

パッケージは、ゴールドを効かせた和柄デザインにリニューアルいたしました。

【商品特徴】

■京都府産 かりがねほうじ茶パウダー64%使用

緑茶の茎の部分を使ったお茶を京都では「かりがね茶」と呼びます。かりがねほうじ茶は、茎の部分を焙じたお茶です。「茎茶」「棒茶」とも言います。

茎茶は葉茶に比べて渋みが少なく、すっきりした味わいの特徴です。

「かりがね(雁が音)」とは、雁(渡り鳥)が海上で休む時にとまる小枝に、茎の形が似ていることが由来と言われています。

「インスタントほうじ茶ラテ」は、京都府産のかりがねほうじ茶パウダーを贅沢に64%使用し、甘さをひかえめに仕上げました。ほうじ茶の香ばしい本格的な味わいを、コクのあるラテとして手軽にお楽しみいただけます。

■原材料を『無添加』へ改良

原材料と配合を見直し、香料・乳化剤・人工甘味料『無添加』へ改良いたしました。それぞれの素材本来の、自然な味わいをお楽しみいただけます。

■インパウンド需要を意識した和柄のパッケージ

パッケージは、ベースを和柄の定番・市松模様柄にリニューアル。市松模様は日本では、途切れず続く石畳のように、繁栄や拡大を意味する縁起の良い模様とされています。古くは古墳の埴輪にも見られます。

ほうじ茶とラテをイメージした黄色と茶色にゴールドを重ねて、商品の本格的な味わいを表現しました。

【商品概要】

商品名	インスタント ほうじ茶ラテ
発売日／販売地域	2019年9月13日(金)／全国
原材料	乳等を主要原料とする食品、砂糖、乳糖、ほうじ茶(かりがねほうじ茶64%)、食塩、酵母エキスパウダー
内容量／金額	90g(約10杯分)／480円＋税
主要売場	輸入食料品店、量販店 他
主要ターゲット	20-40代女性

【会社概要】

商 号 日本緑茶センター株式会社
代 表 者 代表取締役社長 北島 大太朗
本社所在地 〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町 24-4 東武富士ビル
創 立 1969年11月 資 本 金 6,000万円
事 業 内 容 世界のティー、ハーブ、スパイス、塩、油、穀物の輸出入、商品企画開発・製造・卸・小売、店舗運営
U R L <http://www.jp-greentea.co.jp> ※通販サイト「ティーブティック」 <https://www.tea-boutique.jp/>



Japan Green Tea Co., Ltd.

【本件に関するお問い合わせ】 ※サンプルのご希望などお気軽にお問合せください

日本緑茶センター株式会社 広報担当：山口

TEL: 03-5728-6800 FAX: 03-5728-6802

E-mail: pr_info@jp-greentea.co.jp